

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成23年7月26日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒250-0862 神奈川県小田原市成田721	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ユアサ化成株式会社 代表取締役社長 小池 稔 代理人 常務取締役工場長 永野 宏志

環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001
適用範囲	京都長田野工場
導入年月日	平成16年1月9日
認証番号	JQA-EM3666
基本方針	原材料やエネルギーの効率的な利用と資源のリサイクル並びに環境汚染の予防、地域及び地球環境の保全に努め、継続的な改善を図る。また、法、条例、協定等の環境規制を順守する事はもとより、当社が同意したその他の要求事項を順守し、自主管理基準を設定して環境管理レベルの向上を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	① 製造工程における原材料の廃棄率(廃棄量kg/原材料投入量kg)を削減する ② 業務の効率化を図り(省エネ改善)、環境意識の啓蒙活動を推進する。 ③ 環境関連法及びその他の要求事項で規定される管理規定及び標準の見直し及び策定
目標を達成するための取組の内容	① 生産部門での設備トラブル低減、成形及び印刷工程での調整生産数低減、機種替え回数低減の実施 ② 付帯設備の集約し、台数を減らし省エネを図る(コンプレッサー、スポットクレー等)。付帯設備(ポンプ、ファン等)の更新時に省エネ設計機種及びインバーター制御方式を採用し、省エネを図る。照明器具の省エネ設計仕様の物への置き替え、電球の間引き及び昼間の消灯を行い省エネを図る ③ 設備管理標準の見直し及び策定を実施し、省エネ基準での運用を推進する。
目標を達成するための取組の進捗状況	① 製造工程に於ける原材料廃棄率の削減は製造課の2部署で取り組み、工程改善実施中。② 付帯設備の集約に関してコンプレッサーを削減集約実施。尚、ファン及びポンプ類の更新時のインバーター化検討。照明器具等の間引きは、40w蛍光灯等の間引き、運用実施中。③ 環境関連法及びその他の要求事項で規定される管理規定及び標準の見直し及び策定に関してはボイラー等の管理標準を見直し、改定中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	① 製造工程に於ける原材料廃棄率の削減は製造課の2部署で取り組み、工程の改善実施、廃棄率10%程度低減。② 付帯設備の集約に関してはライン廃止分を含め5台を削減集約実施。尚、ファン及びポンプ類の更新時のインバーター化は該当案件なし。照明器具等の間引きは、40w蛍光灯を約100本間引き、運用実施中。③ 環境関連法及びその他の要求事項で規定される管理規定及び標準の見直し及び策定に関してはボイラー等の管理標準を見直し、改定中。
事業活動に係る法令の遵守の状況	ISO14001のシステム上は適時関連部署にて届出、報告等を実施し、環境管理責任者が年3回の遵守状況を確認し、経営者へ報告実施。現状では届出及び報告事項含め、適正に実施。現時点で行政からの指導等はないが、昨年度までの指導及び申し入れについては適切に実施済み。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	定期審査の評価に於いて、適用規格【ISO14001:2004】に基づくマネジメントシステムが継続して有効であると判定された。昨年度の環境方針及び目的・目標の内容は変更なく、継続実施。エネルギーの使用効率化並びに監視に係わる運用管理面強化

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。